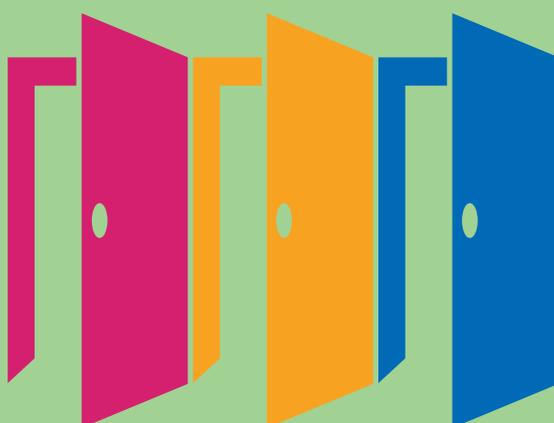


国際ロータリー第2720地区 2020～2021年度

職業奉仕ハイブリッドセミナー資料



ロータリーは機会の扉を開く

日時 2020年11月21日(土) 14:00～16:00

場所 熊本会場 熊本市「熊本城ホール」
大分会場 大分市「KATETE(カテテ)」
オンライン地区WEBサイト



ROTARY
INTERNATIONAL

「ロータリーの目的」 OBJECT OF ROTARY

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

(RI 定款第4条、標準ロータリークラブ定款第5条)



四つのテスト

THE FOUR-WAY TEST

言行はこれに照らしてから

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか

目 次

プログラム	1
ガバナー挨拶	2
職業奉仕部門長挨拶	3
木下光一パストガバナープロフィール	4
木下光一パストガバナー講演資料	5
演題「職業奉仕に惹かれてロータリーへ、そして今」	
永田壮一パストガバナープロフィール	12
永田壮一パストガバナー講演資料	13
演題「ロータリーの歴史に学ぶ職業奉仕」	
参加者名簿	17
出席カード	21

職業奉仕ハイブリッドセミナープログラム

司会：古田 哲朗

14：00	点 鐘	ガバナー	硯川 昭一
14：01	国歌斉唱「奉仕の理想」		
14：05	開会の挨拶	部門長	木下 修
14：10	ガバナー挨拶	ガバナー	硯川 昭一
14：20	講 演	パストガバナー	永田 壮一
	演題「ロータリーの歴史に学ぶ職業奉仕」		
15：00	休 憩		
15：10	講 演	パストガバナー	木下 光一
	演題「職業奉仕に惹かれてロータリーへ そして今」		
15：50	質疑応答		
15：55	閉会の挨拶	ガバナーエレクト	大森 克磨
16：00	点 鐘	ガバナー	硯川 昭一



ガバナー挨拶

国際ロータリー第 2720 地区

ガバナー 硯川 昭 一

本日は、職業奉仕ハイブリッドセミナーにご参加頂きありがとうございます。
ガバナーになりましてから、はや5か月が過ぎようとしています。就任早々、7月4日には大分・熊本での豪雨によりまして、多くのロータリアンが被災されました。心からお見舞い申し上げます。そういう中で、友情あふれるロータリアンの、仲間を支援する姿を目の当たりにし、改めてロータリーの力強さを感じた次第です。特に、自分の職業を生かした活動が数多く見受けられました。被災した会員から防災拠点の提供を受け、まずは、自分自身が大変なのに、その拠点の土砂を重機で排除し、活用できるように改修した建設業関係のメンバー。そこに、日々変わるニーズに対応して、必要物資を届ける建設資材を取り扱うメンバー。事業所、住宅から出た被災ゴミをいち早く撤去して応援した解体業者のメンバー。いずれも適正な費用で、日ごろからの真摯な仕事ぶりが社員や取引業者さんを動かし対応されました。被災された方々は感謝の気持ちと同時に今後何かあれば、ぜひ、このメンバーに仕事をお願いしたいと感じたはずです。改めて、ロータリーは職業奉仕を日々実践する仲間の集まりであることを実感し、誇りに思った次第です。

さて、私は、ガバナーエレクト時代から、地区のセミナーの在り方をもっと合理的で、負担の少ないものにしようと考えていました。例えば、複数の関連する部門が融合したり、開催拠点を充分配慮したりし、満足度を高めたいと思っていました。そこにこのコロナ禍でした。今まではロータリーでのオンライン化は非常に険しいものがあり、まだまだ先の事かと思っていましたが、公式訪問を通じて、多くのクラブがその形はいろいろあるものの、オンライン化に取り組んでいらっしゃる姿を体験しました。

今回のこのハイブリッドセミナーは大分・熊本同時開催でオンラインで繋ぐという画期的なものです。移動時間が少なく済む。感染予防もできる。さらに、会場に行けない方はリモート参加。全てが初めてで、コロナ後においても、活用できる素晴らしい企画です。ただ、私自身、会長エレクト研修会、地区研修・協議会をDVD制作やZOOMウェビナーでのオンライン開催と、かつてやったことのない、手探りのチャレンジをしました。もちろん、失敗も多くありましたが、まずは、前へ進む事です。「最も強いものが生き残るわけではなく、最も賢いものが生き続けるわけでもない。唯一生き残れるのは変化できるもの」と、かのチャールズ・ダーウィンは述べています。どうぞ今日のお二人のバスターガバナーの素晴らしいご講演と新しい開催方法を体験して頂き、これからのロータリー活動のヒントにして頂きたいと思います。どうぞ新しい「機会の扉」を開かれています。



職業奉仕部門長挨拶

国際ロータリー第 2720 地区

職業奉仕部門長 木 下 修

本日はコロナ禍の中、職業奉仕セミナーにご参加くださりまして誠にありがとうございます。このような前代未聞の世界的なウイルス感染によって、すべての経済活動が一時的にせよ中断し、我々の活動も全て中止となったことは驚くべき事態です。誠に残念でございます。

私が所属しております熊本ロータリークラブは1939年に創立されました。しかし浅間丸事件で解散後も熊本木曜会として例会は存続され、先輩たちは戦時中という困難な時代でも例会を続けることの重要性を大切にされたのです。例会が休止となっても、私たちはロータリーの活動を止める訳にはいきません。時代に対応した新しいロータリーのあり様を研究しなくてはならないのです。

今回の職業奉仕セミナーは、二転三転する感染リスクレベルのなかで、我々はセミナーのあり様を検討しました。会場の3密を避け、大分県と熊本県の2会場に分け、個別にセミナーに参加でき、オンラインで会場を共有できるハイブリッドセミナーとすることに致しました。講師は大分から木下光一パストガバナー、熊本から永田壮一パストガバナーにお願いし、それぞれの会場から職業奉仕についてご講演を賜ることに致しました。このような大変な時期だからこそ、私たちはロータリー活動を再認識し、私たちがロータリーという仲間であつながら、“親睦と奉仕”の両輪で光明を見出す入口にしたいと思っております。

今年度のRIホルガー・クナーク会長は、“親睦と職業奉仕を忘れてしまつては、ロータリーは衰退し、その影響力を失ってしまうでしょう”と言われております。我々は高いビジネス倫理を持ち、そのロータリーから与えられた職業分類を私たちはセミナーで深く理解し、同業者にその職業の貴さを伝達しなくてはなりません。

今年度の職業奉仕のスローガンは、“Remember Paul Harris -ロータリーの原点を知る-”としました。職業奉仕を理解するうえで、ポールハリスがなぜロータリーを作ったのかを知ることはとても重要です。硯川昭一ガバナーは“ロータリーには無限の可能性がある”と言われております。皆さんで職業奉仕を理解し、社会にお役に立てる礎になってもらえれば嬉しく思います。

最後となりましたが、2会場をつなぐオンラインは2720 Japan OKEクラブの皆様にお手伝い頂いておりますことをご紹介します。どうも有り難うございました。

講演者 木下光一パストガバナー紹介



1949年生
1972年 京都大学工学部卒業
1977年 木下不動産鑑定事務所創業
1990年 (株) 地域科学研究所創業代表取締役就任
2015年 (株) 地域科学研究所ホールディングス設立代表取締役就任
(株) 地域科学研究所代表取締役会長就任
現在に至る

【公 職】

1988年 (社) 別府青年会議所理事長
1989年 日本青年会議所大分ブロック協議会会長
1989年 大分県中小企業家同友会代表理事～2013年まで

【ロータリー関係】

1992年 大分城西ロータリークラブ入会
2007年 大分城西ロータリークラブ会長
2010年 国際ロータリー第2720地区ガバナー
2012年 国際ロータリー第3ゾーンロータリー財団地域コーディネータ補佐
2012-13年 国際ロータリー第2720地区研修リーダー
2012-15年 ロータリー米山記念奨学会評議員
2014-17年 RIJYEC・RIJYEM 社員
2014-15年 ロータリー研究会第1・2・3ゾーン 実行委員長
RLI 地区代表委員
2015年 規定審議会地区補欠議員
2017-18年 国際ロータリー研修リーダー
2018年 国際ロータリー第2680地区RI会長代理
2018年 GETS チームリーダー
国際ロータリー第2530地区RI会長代理

ポールハリスフェロー、マルチプルフェロー、米山功労者、ベネファクター
メジャードナー、ポールハリスソサエティ会員、米山功労者メジャードナー

職業奉仕は実践

大分城西院 木下 光一

2010-2011年ガバナール

変革期のロータリー、その中で

- 変えるべきところ
 - 奉仕活動の実践分野ー環境保全が第7の重点分野に
 - 管理と運営
- 変えてはならないところ
 - ロータリーの哲学
 - 2つのモットー
 - ロータリーの理念の精神

ロータリーの基本理念

- ロータリーの基本理念は、ロータリアン共通の目的や指針として、長い年月をかけて形づくられたものです。互いの関係や行動の土台として、世界中のロータリアンがこれらの理念を大切にしています。
 - 2つのモットー
 - ロータリーの目的
 - 4つのテスト
 - 五大奉仕部門

ロータリーの目的

- ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：
 - 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
 - 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
 - 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
 - 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

- ロータリアンが生活や仕事の場面で常に覚えておくべき4つの問い、それが「四つのテスト」です。政治や宗教に関係なく、すべての人びとの倫理的指針となるこのテストは、100カ国語以上に翻訳されています。
 - 言行はこれに照らしてから
 - 真実かどうか
 - みんなに公平か
 - 好意と友情を深めるか
 - みんなのためになるかどうか

5

五大奉仕部門

- 私たちは、クラブ活動の土台となる5つの奉仕部門を通じて、地域社会や海外での奉仕に力を注いでいます。
- **クラブ奉仕**は、会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うことです。
- **職業奉仕**は、すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てることでです。
- **社会奉仕**は、すべてのロータリアンが、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。
- **国際奉仕**は、国際的なプロジェクトでボランティアをしたり、海外のパートナーとの協同活動を通じて、平和と相互理解を推進することです。
- **青少年奉仕**は、[ロータリーアクト](#)、[インターアクト](#)、[ロータリー青少年指導者養成プログラム\(OPI\)](#)、[ロータリー青少年交換](#)などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ力を伸ばせるよう支援することです。

6

説明と解釈はこれで終わり

- 自分で考えることがもともと大切、自分が抱えている課題に即して考える
- **Exchange ideas, Join leaders, Take action**
- 社会の課題を解決する → 苦労は多いが喜ばれる、たくさんの気づきがある
 - 自分の職業のブラッシュアップのヒントがたくさんある
- ロータリーは、これを実践するところでは
- その結果、自分の成長、職業の成長、地域社会の充実につながる

7

あなたはどうかやって社会に奉仕・貢献する？

- まず職業を通じて、さらに自分の時間やお金や体を使って、社会課題の解決にあたる職業を通じて、社会に奉仕するとは
 - 職業の職能で課題を解決する
 - 企業・組織として雇用を生み出し、経済的果実を生み出して、社会に還元する
 - これは十分に行われているでしょうか？
 - 地域経済の停滞、人口減少 = 職業奉仕が不十分なのでは？
- ロータリーで特に以下のことをやるべき
 - 地域経済の最大の問題は新たな事業者が生まれないこと → 若者の起業を助ける
 - 子供にICTスキルを教える、特にひとり親世帯の子供に自分の可能性に気づいてもらう

8

地域社会での奉仕について

- 最大のものは自らの職業、企業を成長させ、雇用や、経済的果実を生み出し、地域社会に還元すること → 職業奉仕そのものではないか
- 国や制度に頼らないで、自らの事業を成長させるマインドの醸成
 - ローターリアンがそのモデルになること
- 経済的弱者の子弟のICTスキルの向上 子供食堂などで教える仕組み創出
- 多様な人たちが力を合わせて困難なことを実現して行く体験の提供
 - 青少年交換、留学生
- そして持続可能な地域を作り上げること

9

これができるようになるために

- 親睦やクラブ奉仕がある → 奉仕活動の基盤づくり
- ローターリーの理念や精神を学ぶ → 奉仕活動を生み出す柱
= ミッションに結実
- クラブの奉仕活動で経験を積む
- 家庭や社会で実践
- いつの間にか、誰もできないようなことが自然にできるようになる → ローターリーマジック

10

クラブは一番大切

- 職業の革新のために様々な創意工夫をする
 - 新たにやったことの多くはうまく行かない
 - そんな時に一番相談できるのがクラブの仲間
- 一人ではできない奉仕活動を始められる
- 地域の子供たちは宝、でも自信を持ってない子が多い
- 自分の可能性を実感してもらおう体験を提供
- アイデアを交換して、支え合う これができるのはクラブの仲間
 - 奉仕の心で結ばれているから

11

職業奉仕の真髄

- 求められること
 - もっとも効果的に継続的に成果をあげる
- 経営理念の確立
- 戦略の立案と実践
- 人財の獲得・育成

12

経営者・リーダーに必要な能力

- 外部環境を正しく把握する
- 目標を設定する
- 目標を達成する方法を立案する
- 内部組織を掌握し、強いチームを作る
- ゴールに到達するまでチームを指導する
- チームの頑張りを賞賛し、感謝する

15

ミッションが重要

- リーダーとしての責務を全うするには困難に負けない強い意志が不可欠
- 支えるには何故それをやるのかという明確な理由が必要
- それがミッションです
- そのミッションに運営に関する重要な価値観を加えて経営理念をつくる

14

ミッションをどうつくるか

- 職業のミッション
- 人生観、人間観を表している
- 経営理念を掲げ、それに沿って事業を運営する、その実践こそがミッションを鍛える
- 人材が集まり、また育ってくる
- 中長期的な職業、企業の成長をもたらす

15

ミッションとは課題の解決

- 社会の様々な課題を見つけ、それを解決する
- 仮説を立てて検証する
 - 考えること、解釈ではない
 - **Output**して、実践してみる
 - うまく行かなければ再度考える、これの繰り返し
- リーダーにもっとも必要な能力

16

職業人としてのリーダーシップ

- 求められていること もっとも効果的に継続的に成果をあげる
- 成果とは 企業の場合 売上、利益、雇用増
 専門職業の場合 利用者数 お役立ちの量 雇用増
- つまるところ、長期的、継続的な成長ではないか
- ロータリアンを長くしていて、その人の職業がどうなってきたか
- 企業であれば増収、増益、社員数増が評価指標
- その結果、地域社会から信頼され、なくてはならない企業になる

17

企業版職業奉仕

- 年輪経営 毎年少しづつ 増収、増益、雇用増を実現
 - 社員満足度が高い
 - お客様満足度が高い
- 人を大切にすることを実践することで実現する
 - 経営理念に人を大切にすることが明記されている
 - そのための予算（研修費）が毎期組まれている
- 若い社員の定期採用、教育、幹部への昇進、が見える

18

経営のキーワード

- 共創 お客様と共に商品、サービスを磨き、創造する
- 共育 経営者、社員、社員同士、が共に学ぶ
- 「場」 風土を造る 時間がかかる
- 若い人の定期採用、共育、昇進
- 人間尊重経営

19

人間尊重経営

- 共創 お客様が信頼して使ってくださいているものやサービスの改良を強く求められる
 - 製品、サービスや企業に対して愛着を強く持つておられることが条件
- 共育 オープンで明るい風土
 - いつでも学べる、誰からでも学べる
 - 学び続けるマインド
- 人材の採用 定期的な採用 人手が足りないから人を採用するのではない
 - 若い人を採用して育てて行くので、いつも新しい製品、サービスを作り出している
 - その結果、企業も人も成長する
- 人の成長が企業の根幹

20

経営者（リーダー）の役割

- 外部環境を正しく把握し、それに適応した戦略を立てる
- 職場の全員がそれを理解し、共に力を合わせる
- この二つを実現すること
- プレない優先順位 社員とその家族、取引先、顧客、地域社会、株主
- 経営者の役割は社員のモチベーションを高めること、業績をあげるのは社員の役割

21

知識基盤社会の中で

- 工業社会から知識基盤社会への転換
 - 物、資本、ではなく知識が最も価値ある資源
- 知識は人についている
 - 人を大切にしなければ組織は発展できない
- 人を定期的に採用して育てることが重要
 - 人は自分が成長できるところに集まります
- そのため、あるいはその結果、「年輪経営」になる
 - 毎年、少しずつ増収、増益、増員 → 年輪

22

知識基盤社会になって起こったこと

- ICT技術が中心になった→DX が始まった
- ICTは単なる道具ではなく、価値を生み出す仕組みになる
 - 道具として使ったのが多くの日本企業、ERPシステムの導入にあたって自社に合わせてカスタマイズして、自分とは変わらなかつた。官庁も然り。→日本の国際競争力はズルズル低下
- Global化
- 価値を生み出す源泉は人になった。それも考え人。
 - 必要なのは解説や解釈ではなく、アイデア
 - 企業組織のあり方に大きな影響

23

企業組織に与えた影響

- 人の採用、育成、キャリア→働き方改革
- 大量の新卒一括採用の崩壊
- 各人ごとの給与査定、幅は大きく広がった
- これは教育にも大きな影響を与えた
- 例えば東大に行って、中央官庁や大企業に就職することとがゴールではなくなつた。組織に依存しては良い人生を生きられない
- やりがいのある仕事に夢中になって没頭することができず組織がもつとも人財を集める

24

知識基盤社会に適合した人間尊重経営

- その実践によって生まれるのは高収益成長企業
- 利益率が高い、それが持続する
 - 社員が自分で考えているから
 - 人財が育つ
 - それを見て、新たな人財が集まる
- 最大の社会貢献 雇用、地域経済活性化、果実の地域への還元
- 職業奉仕そのもの

76

期待されるロータリーの役割＝リーダーの育成

- 日本社会は改革が必要 コロナで課題が浮き彫り DX待った無し
- 社会課題の多くはロータリーの課題と共通 高齢化・人口減少・低成長
 - 各地域に改革を実現するリーダーが必要 知恵と勇気
 - 定着するテレワークを地域活性化に活かす クラブの柔軟性
- リーダーを生み出せるのは本来ロータリーしかない
- 元々事業所のリーダー、職業（事業）と地域のブラッシュアップ
- その期待に応えてこそ、ロータリー！

76

講演者 永田壮一パストガバナー紹介



所属クラブ 熊本城東ロータリークラブ
職業分類 内科医
生年月日 1951年（昭和26年）10月6日
最終学歴 東京慈恵会医科大学
勤務先 医療法人 永田会
勤務先役職 理事長

【公 職】

熊本県上益城郡医師会顧問

【ロータリー関係】

1994年9月 熊本城東ロータリークラブ入会
2006～2007 2720 地区国際奉仕委員長
2006年11月～2007年6月
熊本りんどうロータリークラブ特別代表
2008～2009 熊本城東ロータリークラブ会長
2012～2013 地区クラブ管理運営部門部門長
2015～2016 地区青少年交換委員長
2017～2018 2720 地区ガバナー
2018～2021 第3地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐
2020～ 2720 地区研修リーダー

ロータリー財団メジャードナー（レベル3）

ベネファクター

米山功労者（メジャードナー）

ロータリーの歴史に学ぶ



職業奉仕の理念と歴史を紐解く
RID2720 職業奉仕セミナー
2020.11.21

RID DG (2017-2018) 永田 壮一

2020

ロータリーの歴史に見る職業奉仕の変遷

- 1905年 2月23日、シカゴ・ロータリークラブ創立
- 1907年 ポール・ハリスがシカゴRCの会長に就任
網羅互恵に対し、公衆便所設置運動等の社会的奉仕活動の気運が起こる。
- 1908年 アーサー・F・シェルドンがシカゴ・ロータリークラブに入会。情報伝達委員長として自ら創案した職業奉仕理念を導入。
- 1910年：ロータリークラブ連合会(国際ロータリーの前身)ポートランド大会でアーサー・F・シェルドンの提唱による職業奉仕のスロガン
"He profits most who serves fellows best."
がロータリー大会宣言の結語に採択される。
- 1912年：ロータリーの綱領改定
- 1915年：全米ロータリークラブ国際連合サンフランシスコ第6回年次大会にて「ロータリー 道徳律」を採択。職業人としての実践道徳の指針とされた。
(→1951年に廃止) ロータリーの綱領改定。
標準定款・模範細則採用
ガイ・ガンデンダイカー「ロータリー通解」発行

2020

1905～1927

ロータリーの黎明期：恐慌とアメリカの暗黒時代・市場経済至上主義、アメリカン・ドリーム
(時代背景)

職業倫理の欠如→倫理概念→友情と寛容→ロータリーの理念の確立

1928～1986 ロータリーの発展期

恐慌から第二次世界大戦→東西冷戦→世界経済バブル→富の格差
1987～2004

世界の変化：ベルリンの壁崩壊 ソ連の民主化 世界経済の成熟化 新興国の台頭 経済の二極化
多様化の時代への移行

2005～現在 ロータリーの変化期

国または地域の倫理観・地域紛争の遷延化・テロリズム・移民
職業倫理と人道的な倫理観・博愛主義と民族融和主義

2020

1917年：ロータリー財団設立 (アーチ・クランプ)

1922年：国際ロータリー(RI)に改称

ロータリーの綱領・定款・細則改正

R.I.B.I. に対して地域運営が認められる。

1923年：セントルイス国際大会で「決議 23-34」を採択。

「綱領に基づき諸活動に関するロータリーの指

針」として "service, not self" と "He profits

most who serves best." が併記された。

* 9月1日に発生した関東大震災に対しRIより見

舞金を送られる。

1927年：「ロータリー道徳律」は全世界の有用性に関し意

見の一致を欠くとの理由で改訂。翌年「綱領」

に重きをおくことに改められる。

ベルギー・オステンド大会で「四大奉仕」が組

織化され、イギリスの強い要望により 職業奉仕

は "Vocational Service" と命名されて四大奉仕の

一つに組み込まれる。

それまでは「Business Method 委員会」が職業奉仕を

担当していたが、この時の改名により以後「職業天職

論」が主流となる。

2020



Arthur Frederick Sheldon

1918年国際RC連合会の定款のthe Ideal of SERVICEは
He profits most who serves bestの (商業サービス)
だったが1921年の定款第4条に別に新しく「the
Rotary ideal of service」が出現。
2つのIdeal of Serviceの意味は??

R.I.B.Iのパスカル会長：Four Avenues of Service (ロータリー活動の
4路線)

- ① R.I.B.Iのprofitに対する考え方の相違
- ② 商業サービスが人道的サービスに合致しない
- ③ 複雑な宗教的な考え方 (ピューリタンとカソリック)
- ④ Vocational Serviceに包括する宗教論争

ロータリー活動の4路線 → 四大奉仕部門

シェルドン排斥運動。1930年退会。1931年「倫理訓」頒布禁止。
1935年、定款から商業サービスが排除されServiceが一本化。
シェルドンの没年も1935年：何かの因縁??

2020

ロータリーの基本的な理念は、1905年から1927年まで
にほぼ確立されました。しかし、順風満帆ではなかつ
たようです。

理論派と実践派に分かれた論争。→「決議23-34」
エドガー・アレン (Edgar Allen)

1918年オハイオ州エリリアARCに入会。身体障害児
救済のために全米身体障害児協会を設立。積極的
に社会奉仕活動を実践。こういった、行動実践派
とロータリー理論派との間に軋轢が生じた。

理論派：ロータリアンの心に「奉仕の心を形成」
することがロータリーの本旨。

実践派：「奉仕活動の実践」こそがロータリアン
の使命。

(ロータリー崩壊の危機)

2020

しかし現実には、「商業サービス」(シェルドン主導)
と「人道的支援」(ポールハリスが支持)とのロータ
リー活動の路線対立であった。

決議23-34：ロータリーの目的に基づく諸活動に関する方針

1926年に「社会奉仕に関するロータリーの方針」へ変更

それでは、決議23-34の内容は、どのようなものでしょうか?

「個々のクラブにおいて事案上の完全な自治を認めるものでした。」
「他方において、一つの行動が、他の行動を無視すべきではないこと
を厳に戒告したものでした。」

「すべての考慮を職業奉仕に集中しようとする思想は、理論的帰結において一つ
の事態を想定するものであった。事業道德の向上を唯一の目的とする世界的大同
団結なるものは、単にそれ自体大きな価値を持つだけでなく、各国間の親善増進
に寄与する価値は大きい。しかしロータリーは創立以来、その若干の目的の中に
特にある職位を許与したことはかつてなかった。」

2020

ロータリークラブの設立時の思想

前にも述べた「共通の仕事に協力せよ。……」

*一業種一人の大前提 → Vocational Serviceへ

「彼らの間には宗教上及び政治上の議論は友好を妨害する恐れあり
として、これを禁じていた。」

(P.ハリスの祖先はアイルランド・スコットランド人。また、第一次の
ロータリアンの多くがユダヤ人であったため、キリスト教各宗が存在。)

「よく「知り合う」ということが、大切な中間過程であり、それは、迷える
人の心を治し、無益な猜疑を解消して概ね友愛にまで成熟する。」

ロータリーの目的：奉仕の機会として知り合いをひろめること。

ロータリアンは友愛と寛容の精神を持って友情を育む仲間 (Fellowship)

*友情を培い友愛の精神を醸成する → Club Service

ロータリークラブに最初から存在した、職業奉仕とクラブ奉仕

2020

1927年以降の職業奉仕に関する歴史

- 1950年:デトロイト大会「決議50-11」"Service above self"と
"He profits most who serves best"が同格でロータリーの公式モットーに決定。
- 1979年:職業奉仕週間新設
- 1987年:RI職業奉仕委員会復活
- 1989年:「ロータリアンの職業宣言」
- “Service above self”を第一モットーに”He profits most who serves best”を第二モットーとした。
- 2007年:標準ロータリークラブ定款に「四大奉仕部門」が追加。
DLP CLPの導入

2020

2010年:手続要覧に「決議23-34」を継続保存と決定。

また、「四大奉仕」→「五大奉仕」となる。

2011年:ロータリアンの職業宣言→ロータリーの行動規範

2014年:「ロータリーの行動規範」の第5項を削除

2016年:E-クラブとクラブの垣根がなくなる。

2019年:ロータリーアクトクラブがRIIに加入

それでは、職業奉仕とは何？

標準ロータリークラブ定款第6条 五大奉仕部門から読み解くと
「自らの職業で奉仕の理念を實踐し、ロータリーの理念に従って
事業を行い、その中で得た職業上のスキルを奉仕事業で役立てる
事」とあります。

2020

国際ロータリーの第一標語

SERVICE above SELF (超我の奉仕)

国際ロータリーの第二標語

One Profits Most Who Serves Best.

(最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)

「奉仕の理念」= 二つのロータリー標語

「ロータリーの基本理念」= 手続要覧の 1.ロータリーの基本理念 に書かれた「決議23-34」「4つのテスト」
「ロータリーの目的」「五大奉仕部門」そして、ロータリー章典に書かれた「青少年と接する際の行動規範に関する声明」
「国際ロータリーの標語」「国際ロータリーの使命」「ロータリー財団の使命」

2020

なあーんだ！「奉仕の理念」が解れば「職業奉仕」は解るんだ。

しかも、「奉仕の理念」は二つの標語だし・・・簡単、簡単

そうなんです！ では、「超我の奉仕」とは？

超我の奉仕 (Service above Self) : フランクリン・コリンズが演説で言った言葉です。当初は「Service, not Self」でした。

米山梅吉翁は「奉仕第一、自己第二」と訳されました。また田中作次元RI会長は「利他の心」と話されました。Paul Harrisは著書「This Rotarian Age」で「マタイの福音書」の黄金律を度々引用しています。

つまり、超我の奉仕は自らの利益など一切考えずに常に相手の利益（金銭ではない）の事を考えて行動する事ではないでしょうか？

職業上の「奉仕の理念の實踐」とは、自らの利益は考えずに常に先ず顧客の利益を考えて仕事をする事なのです。

2020

そうして、「4つのテスト」に照らし合わせて行動し、自らの職業で、あるいは同業者の倫理観を発展させていけば、シエルドンが言った「One profits most who serves best」(最も良く奉仕するもの、最も多く報いられる)通りになると思います。

更に、五大奉仕部門の第2に書いてあるように、クラブにおいては、そうした職業奉仕の実践で得られた職業上のスキルやノウハウをクラブで行う奉仕活動に活かしていく事を推奨しています。

文字通り、職業奉仕こそがロータリーの金看板と言われる理由がここにあります。

「職業奉仕」こそ唯一、世界に発信できるロータリーの崇高な理念なのです。

2020

奉仕の理念 (Ideal of Service) とは何を意味するか。

『ロータリー解説書』の著者はこれに関する種々の言説を引用している。それぞれ言葉は異なるが精神は一つである。

エジプト人曰く「己の欲する善を他人のために求めよ」。ペルシヤ人曰く「汝施されんと欲する所を施せ」。仏陀曰く「人は己のために欲する福善を他人のために求むべきものなり」。孔子曰く「汝の欲せざる所を他人に施す事なかれ」。最後にナザレのイエス曰く「汝他人より与えられんと欲する全てを他人に与えよ」。

ポール・P・ハリス (1935年)



Rotary

2020



ご静聴ありがとうございました。

2020

地区役員出席者名簿

敬称略

役 職	氏 名	ク ラ ブ	会 場
ガバナー	硯川 昭一	熊本江南	熊本
パストガバナー	木下 光一	大分城西	大分
パストガバナー・地区研修リーダー	永田 壮一	熊本城東	熊本
パストガバナー	高山泰四郎	大分1985	大分
ガバナーエレクト	大森 克磨	大分キャピタル	大分
ガバナーノミニ	堀川 貴史	熊本南	熊本
大分第一Gガバナー補佐	横尾 精二	日田中央	大分
大分第二Gガバナー補佐	江上 公信	宇佐八幡	大分
大分第四Gガバナー補佐	和田 正敏	大分臨海	大分
熊本第一Gガバナー補佐	秋吉 克洋	玉名中央	熊本
熊本第二Gガバナー補佐	山下 和貴	菊池	オンライン
熊本第三Gガバナー補佐	小糸 興紀	熊本水前寺公園	熊本
熊本第四Gガバナー補佐	木村 初	熊本西南	オンライン
熊本第五Gガバナー補佐	岡崎 浩信	宇土	オンライン
熊本第六Gガバナー補佐	宮原 正名	人吉中央	熊本
熊本第七Gガバナー補佐	田河 定茂	本渡	熊本
地区研修委員会副委員長	上野 公則	日出	熊本
地区研修委員会副委員長	中川 貴夫	人吉	熊本
地区研修委員会委員	作守 順子	宇土	熊本
職業奉仕部門担当研修委員	杉尾 健一郎	玉名中央	熊本
職業奉仕部門長	木下 修	熊本	熊本
職業奉仕副部門長	片山 勇	2720Japan0. K. REC	大分
職業奉仕委員会副委員長	古田 哲朗	熊本東南	熊本
職業奉仕委員会委員	宮川 義行	熊本東南	熊本
職業奉仕委員会委員	大村谷 輝	大分	大分
職業奉仕委員会委員	平野 隆三	人吉中央	熊本

出席者名簿

敬称略

G	クラブ名	氏名	役職名	会場	G	クラブ名	氏名	役職名	会場
大分第一	中 津	末永 克典	会長	オンライン	大分第四	大分臨海	中野 大輔	奉仕プロジェクト委員長	オンライン
		大東 慶久	職業奉仕委員長	オンライン			園田 忠	職業奉仕委員長	オンライン
	日 田	松本 裕二	職業奉仕委員長	大分		大分南	三股 正幸	職業奉仕委員長	オンライン
	中津中央	河野 誠男	会長	オンライン		大分中央	久保田 哲	職業奉仕委員	オンライン
		久末 京泰	奉仕プロジェクト委員長	オンライン		大分1985	菊池 武司	職業奉仕委員長	大分
	日田中央	諫山 悦子	職業奉仕委員長	オンライン		大分城西	芳崎 一郎	地区研修委員 職業奉仕委員長	大分
	玖 珠	吉光 幸夫	職業奉仕委員長	大分		大分キャピタル	高野 幸史	職業奉仕委員長	大分
	中津平成	-	-	欠席		2720JapanO. K.REC	前田 雅史	会長	大分
大分第二	豊後高田	原田 英一	職業奉仕委員	大分	尾林 邦生		青少年奉仕員	大分	
	宇 佐	末宗 為十	職業奉仕委員長	大分	松岡 祥仁		職業奉仕委員	熊本	
		本庄 伸子	地区管理運営副部門長 SAA	熊本	松浦 倫		国際奉仕副委員長	オンライン	
	杵 築	-	-	欠席	村田 武		職業奉仕委員長	オンライン	
	くにさき	-	-	欠席	大分第五	竹 田	-	-	欠席
宇佐八幡	吉本 幸成	青少年・職業奉仕部門長	大分	佐 伯		御手洗和子	職業奉仕委員長	大分	
	永松何奈子	R財団委員長	オンライン	白 杵		-	-	欠席	
宇佐2001	川島 律男	職業奉仕委員長	オンライン	津久見		徳脇 伸明	職業奉仕委員長	オンライン	
	高橋 宣宏	幹事	オンライン	豊後大野		佐藤 玉枝	職業奉仕委員長	大分	
大分第三	別 府	-	-	欠席		白杵中央	-	-	欠席
	別府北	-	-	欠席		佐伯MARINE	石井 龍馬	職業奉仕委員長	オンライン
	別府東	沼田 守生	職業奉仕委員長	オンライン	管 博久		会長	オンライン	
	日出	上野 浩伸	直前会長	熊本	脇田 佳幸		幹事	オンライン	
	別府中央	-	-	欠席	熊本第一	山 鹿	-	-	欠席
	湯布院	-	-	欠席		玉 名	大石 勉	会長	オンライン
大分第四	大 分	小野日出明	職業奉仕委員長	大分	荒 尾	甲斐田誠義	会長	オンライン	
		幸 英治	職業奉仕副委員長	大分		谷口 祐介	幹事	オンライン	
	大分東	裏 正亘	職業奉仕委員長	大分		上田 勝久	職業奉仕委員長	オンライン	
		菅 雅幸	職業奉仕委員長	オンライン		仲島 光晴	職業奉仕委員	オンライン	

出席者名簿

敬称略

G	クラブ名	氏名	役職名	会場	G	クラブ名	氏名	役職名	会場	
熊一	玉名中央	杉尾健一郎	職業奉仕委員長	熊本	熊本第五	八代	岩橋 恵一	職業奉仕委員長	オンライン	
	阿 蘇	渡邊 富廣	職業奉仕委員長	熊本		八代北	-	-	欠席	
		小嶋 維男	社会奉仕委員長	熊本		八代南	市野 誠也	地区研修委員	オンライン	
	肥後大津	桑住賢二郎	職業奉仕委員長	熊本		宇 土	作守 順子	SAA 地区研修委員	熊本	
	菊 池	角田 昭吉	職業奉仕委員長	オンライン		八代東	齋藤 正	職業奉仕委員長	オンライン	
	肥後小国			欠席		宇 城	土谷 壮司	会長	熊本	
	熊本菊南	村上 孝行	職業奉仕委員長	熊本		熊本第六	人 吉	中川 貴夫	地区研修副委員長 公共イメージ委員長	熊本
	熊本'05福祉	横山恵美子	職業奉仕委員長	熊本			水 俣	-	-	欠席
熊本りんどう	廣田 雅人	職業奉仕委員長	オンライン	多良木	秋山二三幸		職業奉仕委員長	熊本		
熊 本		目黒 純一	理事	熊本	芦 北		川尻 成美	職業奉仕委員長	熊本	
		高橋 卓也	職業奉仕委員長	熊本	人吉中央		福司山芳弘	会長	熊本	
		川田 修一	-	熊本			岩本 健	幹事	熊本	
熊本東	平木 邦昭	奉仕プロジェクト委員長	オンライン	奥村 高史			職業奉仕委員長	熊本		
	大久保 誠	職業奉仕委員	オンライン	熊本第七	天 草		大塚 貴洋	職業奉仕副委員長	オンライン	
熊本北	-	-	欠席		牛 深	福岡 得史	職業奉仕委員長	熊本		
熊本東南	草村 安宏	職業担当副担当	熊本		西天草	坂西 力	奉仕プロジェクト委員長	オンライン		
熊本城東	開 克行	奉仕プロジェクト委員長	熊本		天草中央	井立 伸一	幹事	熊本		
	西村まりこ	奉仕プロジェクト委員会 職業奉仕担当	オンライン			余宮 義教	職業奉仕委員長	熊本		
熊本グリーン	大友 利行	理事	熊本		天草パールライン	-	-	欠席		
熊本平成	-	-	欠席		熊本会場		46			
熊本水前寺公園	-	-	欠席						大分会場	
熊本第四	熊本南	高宮 宏	職業奉仕委員長	熊本	オンライン		41			
	熊本江南	林 明	会長	熊本					合計	
		森崎 伸晃	幹事	オンライン						
		松下 勝司	職業奉仕委員長	オンライン						
	熊本西南	林田 信治	職業奉仕委員長	熊本						
	熊本西	本田 一夫	会長	オンライン						
	熊本中央	藤本 真一	職業奉仕委員長	熊本						
	熊本西稜	山角 智秀	副会長	熊本						

RI第2720地区 2020～2021年度
職業奉仕ハイブリッドセミナー

出席報告

期日:2020年11月21日(土)

場所:大分市「KATETE」 熊本市「熊本城ホール」

所属RC _____

氏 名 _____

上記会員は、職業奉仕ハイブリッドセミナーへ出席いたしました

国際ロータリー第2720地区
職業奉仕部門長 木下 修

